

恵みと真理のニュース



2013年9月の一次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証] 霊肉に限りない救いの恵みを与えてくださり

愛し仕える幸せで満たして下さいました。



子供の頃私は友達についてしばらく教会に通いました。しかし、まだ強い信仰を持ってなかったので職場生活をしながら様々な言い訳をして教会に行くのを辞めて神様から離れました。結婚してアンヤンで新婚生活を始めましたが旦那の会社の経営が大きい問題ができ経済的に大変で私の家族も新婚の時から平凡な道でなりました。

隣りに住む区域長が毎週休まずに恵みと真理のニュースをくださり、私を伝道しました。すぐ教会に行かなかったのですがたまに聖徒の証と説教の御言葉を読みながら感動を受け恵まれました。何日後、区域長をついて教会に行って真実にイエス様を受け入れました。神様を離れて生きて来た時間を悔い改め礼拝に積極的に参加しながら御言葉と聖霊の恵みで日ごとに信仰が成長しました。その間区域長の職分も受けました。一番目の子供が一歳になると家計に役に立ちたくて職場に出ようしたら神様の御心ではなかったか、変に高熱が出て体がすぐ疲れて職場を行こうとした思いをやめました。そして二番目の子供を産みました。二人の子供を育ちながら奉仕するのが難しく1年間職分を休むようになりました。すると教区長と首区域長が職分に負担を持たなくて祈りながら出来るだけ最善をつくして行くとき々神様が力と知恵をくださり職分をよく担えるように助けてくださる、生活にも様々な祝福を加えてくださると励みました。

生まれて一ヶ月になった二番目の子が乳を飲む時にも飲まなくてただぐずって泣きました。入院して検査を受け結果を待つ中で私は“神様、この子を生きようにしてくださると頑張る奉仕し献身します。職分もよく担います。”と主に約束しながら切に祈りました。検査結果は子供の喉に少し炎症だけあって他の以上はなかったので無事に退院できました。神様に感謝しな

がらどんな状況でも揺れなく真面目で忠誠した主の働き者として生きることを決心しました。その後伝道の実りを得て信じてない人々に福音を伝え教会と聖徒を愛し仕える幸せで満たされました。職分を受けて決心したように主の事に最善をつくしました。旦那が建築分野の技術士試験に何回もうけたが2点足りなくて3点足りなくて続けて落ちました。私たちの夫婦は楽段なくて足りない点数ほど教会でもっと奉仕をしようと神様がその以上満たして下さる事を信じて各自が担えているところでもっと献身しました。教会の全ての礼拝にも休まずに参加しながら神様に恵みを求めながら祈りました。そしたら、ついに次の試験で合格して願いが成し遂げられました。その年に京畿道の中でただ1人だけ合格する難しい試験でした。ハレルヤ!

旦那はその資格を持って事業を運営するようになりました。まだ旦那の事業が頂上になる前でした。好事魔多しで、私たちが高慢になったか二番目の子供が体育授業を受け時学校のブルで落ちて意識不明になる事故にあいました。近くの病院に行ってから大学病院の応急室で運ばれ医師から再生できる可能性がないと絶望的な話を聴きました。私たちの夫婦は重患の病棟に移して神様の奇跡で子供が起きるように夜通し祈りました。娘の話を聞いた教区と区域で多くの聖徒と教役者たちが祈ってくれました。すると神様が奇跡を起こしてく下さり娘が起きました。

娘が命を拾って退院しましたが、その喜びは少しだけでした。事件後、子供は酷い外傷後ストレスで大変でした。毎晩悪夢を見て私たちの家族も見逃れてただ許してくださいと誤ったり繰り返して鼻血を流しました。その子供を抱きしめて涙を流しながら祈りました。朝ごはんも食べなくて弱い体で学校に向かう子供の姿を見送る私の心情はどんな言葉では表現出来ないほど

心が痛かったです。こんな日が続けて子供の体はもっと弱くなっていきました。医師は子供がまだ食事が出来なく低血糖で白血球の数値がたかさん落ちてくる状態で学校に通うと倒れるかわからないから応急状況を準備しなさいと言うほどでした。

ただ神様の神癒の恵みを願い娘の命を救ってくださるラパの神様に哀れみと愛と権能を与えて下さり娘が完全に回復することを求めました。そのように何ヶ月が過ぎたときから娘の状態が急激に好転になり始めました。そして健康が回復されました。“主のみ、わたしは望みを置いていた。主は耳を傾けて、叫びを聞いてくださった。”(詩篇 40:1)ハレルヤ!今娘は比較的に健康な体で教会学校の中等部で頑張る礼拝を捧げ奉仕の職分まで担って仕えています。神様は旦那の事業にも次第に安定され発展される恵みを与えて下さいました。按手執事の職分も下さり以前よりもっと熱心と喜びを持って主の体になる教会と聖徒を仕えるように恵も下さりました。そして2010年6月に私が甲状腺癌初期の診断を受けましたが他のところに転移されなくて手術も良くでき神様の様々な摂理で治療して下さいました。

神様から受けた恵みと愛をどんな方法で返す事が出来ないが私の残りの人生を主に完全に捧げ献身します。

“わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。”(コリント信徒への手紙一 15:58)という御言葉に従ってただ主の喜びのためいつも信仰と従順と献身の人生を生きると主の前で念を押します。神様は私と家族に与えて下さった全ての恵みと職分に感謝し、また私に新しい希望と使命を下さった神様に限りない感謝を捧げます。



[信仰コラム] これが私(わたし)の宝(たから)です

…また、それらのものによって、尊く、大いなる約束が、わたしたちに与えられている。それは、あなたがたが、世にある欲のために滅びることを免れ、神の性質にあずかる者となるためである。(ペトロの手紙二 1:1-4)

非常(ひじょう)に貴重(きちょう)で価値(かち)のあるものを宝(たから)と申(もう)します。人(ひと)は自分(じぶん)が持(も)つ価値(かち)の大(おお)きさを他人(たにん)と比較(ひかく)しながら相対(そうたい)的(てき)優越(ゆうえつ)感(かん)や劣等(れつとう)感(かん)を持(も)っています。あるいは幸福(こうふく)や不幸(ふこう)感(かん)を感(かん)じます。

そこで価値(かち)のあることを少(すこ)しでも持(も)とうと努力(どりよく)して競争(きょうそう)します。イエス・キリストを信(しん)じれば現(あらわ)れる現象(げんしょう)の一(ひと)つは価値(かち)観(かん)の変化(へんか)です。以前(いぜん)に非常(ひじょう)に貴重(きちょう)に思(おも)ったことを糞土(ふんど)と一緒に(いっしょ)に考(かん)がえるようになることができます。反面(はんめん)、に移転(いてん)に無(む)価値(かち)と思(おも)ったり、その価値(かち)を知(し)らなかつたことを非常(ひじょう)に価値(かち)のあるものと考(かん)がえるようになることも生(う)まれます。イエス・キリストを信(しん)じたら前(まえ)に知(し)らなかつた莫大(ばくだい)な価値(かち)を持(も)ったものたちと知(し)り合(あ)いになって“これが私(わたし)の宝(たから)です。”と自慢(じまん)することが生(う)まれます。その中(なか)で聖書(せいしょ)に宝(たから)という言葉(ことば)で明示(めいじ)されてるものだけを探(さが)して見(み)てみます。真実(しんじつ)の信者(しんじゃ)は次(つぎ)の七(なな)つを“私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)っていることとなります。

第(だい)一(いち)に、“全能(ぜんのう)の神(かみ)様(さま)が私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)えます。(ヨブ 22:24、25)神(かみ)様(さま)よりも頼(たよ)って重大(じゅうだい)に思(おも)うことをないよう

にすれば全能(ぜんのう)の神(かみ)様(さま)が宝(たから)になって神(かみ)様(さま)の面(めん)ど(めんどう)を見(み)ている恩寵(おんちよう)のうち、住(す)むようになります。

第(だい)二(に)に、“神(かみ)様(さま)の慈悲(じひ)心(しん)が私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)えます。(詩篇 36:7)神(かみ)様(さま)が私(わたし)たちの罪(つみ)を属(ぞく)して救援(きゆうえん)をしようとして彼(かれ)の御子(みこ)を世(よ)に送(おく)ったことこそ、神(かみ)様(さま)の因子(いんし)清福(せいふく)のピークです。彼(かれ)だけでなく、救援(きゆうえん)得(え)た私(わたし)たちはよく倒(たお)れて倒(たお)れても神(かみ)様(さま)を呼(よ)べば優(やさ)しい神(かみ)様(さま)が私(わたし)たちを退(しりぞ)けずに支(ささ)えてくれて起(お)こしてくれま

す。第(だい)三(さん)に、“神(かみ)様(さま)の考(かん)が私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)えます。(詩篇 139:17)神(かみ)様(さま)が私(わたし)のような罪(つみ)人(にん)を救援(きゆうえん)し、神(かみ)の民(みん)となって、神(かみ)様(さま)の子供(こども)がされようと計画(けいかく)して摂理(せつり)し、配慮(はいりょ)するその考(かん)が私(わたし)たちが皆(みんな)計(はか)り知(し)れませ

ん。第(だい)四(よん)に、“神(かみ)様(さま)を知(し)って畏敬(いけい)の念(ねん)で言(い)う唇(くちびる)が私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)えます。(箴言 20:15)神(かみ)様(さま)を知(し)っている知識(ちしき)を持(も)って神(かみ)様(さま)を畏敬(いけい)の念(ねん)で言(い)う唇(くちびる)は人(ひと)たちにとって重要(じゅうよう)な知識(ちしき)を伝(つた)えることになって、徳(とく)を立(た)てることを言(い)うようになって、恩(おん)を与(あた)えることを言(い)うようになります。

五(いつ)つ、“イエス・キリストを信(しん)じている信念(しんねん)が私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)えます。(ペトロの手紙二

1:1)イエス・キリストは私(わたし)たちの救主(きうす)です。イエス・キリストを神(かみ)様(さま)と信(しん)じ

ているしても救主(きうす)として信(しん)じないなら、その信(しん)頼(しんらい)としては救援(きゆうえん)を得(え)ませ

ん。六(ろく)番(ばん)目(め)、“イエス・キリストは私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)えます。(ペトロの手紙一

2:4、5、7)イエスがどのような点(てん)で私(わたし)たちの宝(たから)御(ご)用(よう)を説明(せつめい)したらきりがあります。、イエス・キリストは彼(かれ)を信(しん)じる者(もの)に知恵(ちえ)と正義(せいぎ)感(かん)と神聖(しんせい)と拘束(こうそく)することになります。

七(しち)番(ばん)目(め)、“神(かみ)様(さま)の約束(やくそく)が私(わたし)の宝(たから)です。”と言(い)えます。(ペトロの手紙二

1:4)その約束(やくそく)がどれほど大変(たいへん)なものかは全部(ぜんぶ)形言(かたち)することができないため、いくつだけ見(み)てみます。私(わたし)たちの人生(じんせい)に迫(せま)ったすべてのことが善良(ぜんりょう)な結果(けっか)をもたらすべくなさると神(かみ)様(さま)が約束(やくそく)しました。私(わたし)たちの祈(いの)りを回答(かいとう)しなされると約束(やくそく)しました。神(かみ)様(さま)が省令(しょうれい)で来(こ)られて私(わたし)たちを離(はな)れないという約束(やくそく)をしました。主(しゅ)イエスキリストの再臨(さいりん)とそこに伴(ともな)う約束(やくそく)があります。この外(そと)にも聖書(せいしょ)には貴重(きちょう)で極(きわ)めて大(おお)きな公約(こうやく)が何(なん)度(ども)もいます。皆(みんな)さんはこのような宝(たから)を思(おも)いますので、いつも嬉(うれ)しい気持(きもち)と幸(しあわ)せな心(こころ)で生(い)きていくように願(ねが)います。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

私たちは光復 68 周年を迎えました。我が民族が日帝治下の恥じと苦難から解放された光復のその日は忘れることができないし また忘れてはいけない日です。この日は神様が私たちのために大いなる事を行った日です。今日は解放の喜びと感激を歌った詩編 126 編をよく見ながら 8・15 光復に対する意味を振り返って私たちのために大いなる事を行う神様に感謝する心を新しくしたいと思います。そして神様が私たちに行った大変な事を根拠して今もそして明日も神様が大きいなる事を行ってくださるのを切に祈り固く信じる生活をするにはげまそうと思います。

第一、私たちは神様が私たちのために大いなる事を行ったことを楽しがらなければなりません。そして忘れてはいけません。

詩編の記者は言うのを “エホバが私たちのために大いなる事を行ったから私たちはうれしい” といいました。我が民族は神様が私たちのために大いなる事を行ったことを分かなければならないしこれを忘れてはいけません。アメリカが第 2 次世界大戦に参戦して、侵略の野慾を捨てることができない日本に原子爆弾を投下することで日本が無条件降参をしました。その結果で我が国が解放を迎えました。我が国が日本の長年の束縛で解放を得るようになったことは神様がこのように大いなる事を行いました。6・25 戦争で我が国の運命が風の前のともしびのようになった時アメリカを含めた国連軍が迅速な参戦をして戦争を逆転させたことも神様が私たちのために大いなる事を行ったのです。戦争の惨禍で産業施設と都市が灰燼に変わりました。それだけではなく北朝鮮の絶え間ない脅威と挑発による一触即発の緊張が続きました。こんな状況で我が国は類例がない位の眩しい発展と経済成長を成しました。私たちは愛国志士先烈とアメリカを含めた友邦国家に対する感謝を忘れてはいけません。そしてなによりも私たちのために大いなる事を行った神様に専心で常に感謝しなければなりません。詩編の記者は “列邦の中で言うのをエホバが私どものために大いなる事を行ったと言って” といいました。過去イスラエルを見てこのように言ったが今日我が国を見て口邦が驚異的に思っています。マッカーサー将軍が言うのを韓国は 6・25 戦争の被害がとても大きいのでこれを復旧するためには 100 年がかかると言いました。ところで 1960 年代初に輸出 3,000 万ドル未満だった貧しい韓国が 1979 年には輸出 150 億ドルを果たす驚くべきな経済成長を成しました。今我が国は世界九番目の貿易 1 兆ドルを果たした国になりました。我が国の今日を見て隣国人々が奇蹟だと言います。この言葉は神様が 大いなる事を行ったという話のようです。

大いなる事を行う神様

“主がシオンの繁栄を回復されたとき、われらは夢みる者のようであった。その時われらの口は笑いで満たされ、われらの舌は喜びの声で満たされた。その時「主は彼らのために大いなる事をなされた」と言った者が、もろもろの国民の中にあつた。主はわれらのために大いなる事をなされたので、われらは喜んだ。この本文はすべての聖徒たちの歌であり証でもあります。人間は真正な意味で自由人ではないです。人類の先祖は悪魔の誘うことを受けて “神様のようになると” ころみました。そして善悪を知る木の実を取って食べました。その日から人間は悪魔と罪そして死亡に至る人になってしまいました。人間が真の自由を得ようとすればイエスキリストを通じて神様に帰らなければなりません。イエスキリストによって得る自由は三種類に分けることができます。

“先に、罪からの自由です。聖書に記録されるのを “真理があなたがたを自由するようにしよう。” 告げました。イエスは “私がすなわち真理だ。” とおっしゃいました。十字架に釘つけられたが三日ぶりに復活した神様の息子イエスキリストがすなわち真理です。次は、律法と律法の呪いからの自由です。ガラテヤ人への手紙 3:23 節に “信仰が現れる前には、わたしたちは律法の下で監視されており、やがて啓示される信仰の時まで閉じ込められていた。” 言いました。人間は罪人のように律法という監獄に閉じこめられています。ガラテヤ人への手紙 3 章 13 節に “キリストは、わたしたちのためにのろいとなって、わたしたちを律法ののろいからあがない出して下さった。聖書に、「木にかけられる者は、すべてのろわれる」と書いてある。” 言いました。イエスキリストが 十字架に釘つけられた事によって私たちが律法と律法の呪いから自由するようになりました。その次は、死亡の恐怖と死亡の勢力を持った者悪魔からの自由です。ヘブル人への手紙 2 章 14,15 節に “このように、子たちは血と肉と共にあずかっているのです、イエスもまた同様に、それらをそなえておられる。それは、死の力を持つ者、すなわち悪魔を、ご自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた者たちを、解き放つためである。” しました。

人々は恐ろしさに属して一生を生きて行っています。その恐れは死亡に対する恐れです。この死亡は肉体的死亡だけではなく最後の審判の後 火と硫黄で燃える池に投げられる二番目の死亡まで含まれたのです。しかしイエスキリストがあがないの死を死んでまた生き返えることで罪と死亡の問題を皆 解決しました。イエスキリストを信じるすべての人は永生を得るようになります。そして将来身が復活するようになります。聖徒の皆さんは罪からの自由、律法と律法の呪いからの自由、死亡の恐怖と死亡の勢力を持った者悪魔からの自由を得ました。このような自由は神様がイエスキリストにあって私たちのために成した大いなる事です。

第二、神様が行った大いなる事を体験した皆さんは他の事にも神様が大きいなる事を行ってくださるのを切に求めなければなりません。

詩編の記者は大いなる事を行ってくださった神様に続いて大いなる事を行ってくれと切に求めました。“エホバよ私たちのとりこを南方の河のように帰してください。” と求めました。

ユダヤ南方は不毛であばらな地域です。河たちは長い間 水が乾くようになります。しかし雨季の時には水があふれるようになる所です。このようにまださまざまな事情で帰って来ることができずにバビロンにとどまって暮す同胞たちがまるで乾いてしまった南方の河のようにととても見こみがなさそうだ。時になれば南方の河に流入される水が河を一杯に満たすように彼らも結局自由になって一つで集まって喜びを享受するようにしてくれと切に求めました。解放以後私たち大韓民国国民は自由と繁栄を享受しています。ところで休戦線の北の私たちの同胞たちはまだ閉鎖社会で飢えと監視の中に苦痛あっています。私たちは希望を持って祈らなければなりません。自由と平和と繁栄を南北韓同胞たちが共に生きるのを祈らなければなりません。なによりも北朝鮮同胞たちが自由に福音を聞いて信じながら伝えるように祈らなければなりません。愛する皆さんは罪からの自由、律法と律法の呪いからの自由、死亡の恐怖と死亡の勢力を持った者悪魔からの自由を得ました。イエスキリストにあってこのような大いなる事を体験した皆さんはこの体験の基盤に立って皆さんの一生を通じて神様が大きいなる事を行ってくださるのを胆大に求めるように願います。

第三、神様が行った大いなる事を経験した人は国のために同胞のために献身しなければなりません。

私たちは血と汗と愛を捧げる祖国があるというのがいくら幸せなのかをうずいてつらい歴史を通じて学びました。日帝治下でキリスト教徒たちは愛国運動の中心の勢力になりました。3・1 運動当時基督教会の役目がどうだったということは言うまでもなく祖国復興運動に献身した愛国志士の多くの数がキリスト教徒でした。私たちは確信します。愛国愛族において一番重要なことの中に一つは同胞を福音化するのです。これは一番安全で効果的な平和統一の道もなります。すべての手段と方法を動員してすべての同胞の心霊の中に福音を植えるようにしなければなりません。このため手数と犠牲は全く価値あつてとうといのです。詩編の記者はこのような確信を打ち明けました。“涙をもって種まく者は、喜びの声をもち刈り取る。種を携え、涙を流して出て行く者は、束を携え、喜びの声をあげて帰ってくるであろう。” (詩編 126:5,6)。 私たちもこのような確信を持って国と民族のために犠牲的な献身をするようにしましょう。7 千万民族の霊的解放という恵まれた結実を結ぶその日が来るようにつくしましょう。

68年前、大いなる事を行って我が民族に光復を得るようになされた神様がもう一度大いなる事を行ってくださって北朝鮮の同胞たちも完全な自由を享受するようになってくれと私たちが祈らなければなりません。南北韓が自由に往き来してさらには平和統一になるように神様に大いなる事を行ってくれと祈らなければなりません。北朝鮮の全域諸所に教会が建てられる日が速く来るように神様に大いなる事を行ってくれと祈らなければなりません。神様は涙流して祈って力をつくして傳導しながら借しませず献身する皆さんに権能の手を突き出して大いなる事を行います。大いなる事を行う神様によって皆さんは夢見るようで口には笑いが一杯で讚尿がいっぱいになるよう一生を生きて行くように願います。